

令和4年度星雲工房（就労継続支援B型）事業報告

◀ 施設の概要 ▶

◇ 名称及び所在地

『星雲工房』 岩手県大船渡市立根町字下欠125番地17

TEL 0192(21)1818 FAX 0192(21)1819

◇ 事業種別

就労継続支援B型事業所

◇ 設 備

敷地面積 1,833 m² 床面積 392.01 m² (鉄筋コンクリート造平屋建)

事務室・相談室・静養室・食堂兼娯楽室・男女更衣室・作業室

男女便所・倉庫・洗面所・調理室・屋外倉庫・シャワー室

◇ 定員 30名

◇ 沿革

平成11年4月1日 精神障害者通所授産施設「星雲工房」として開所。定員20名。

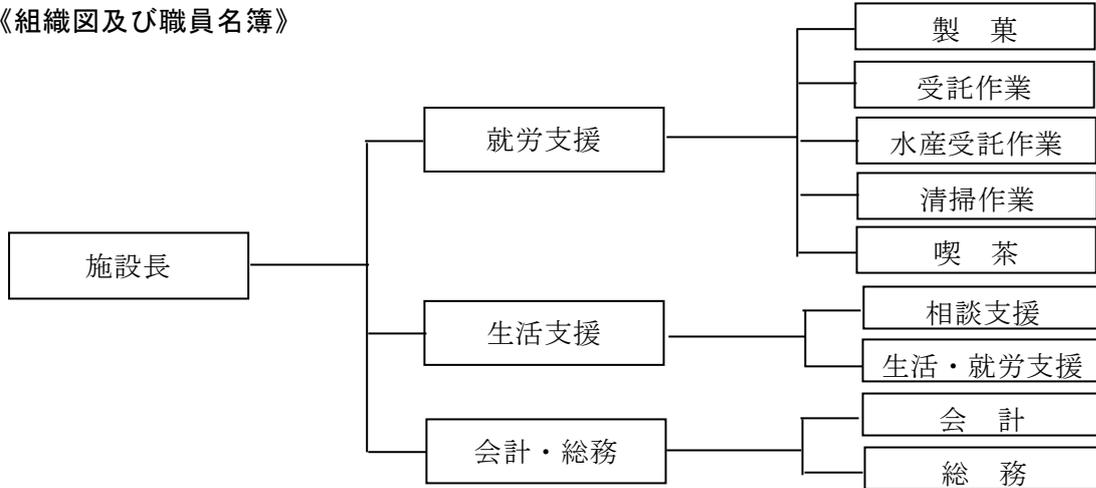
平成18年10月1日 就労継続支援B型事業所指定（朋友館と一体で事業開始）

平成20年4月1日 定員を30名に増員

平成20年11月20日 喫茶「夢茶房」を南三陸ショッピングセンターサンリア内に移転開設

1. 職員の状況

《組織図及び職員名簿》



《職員名簿》

職 名	氏 名	職 名	氏 名
施設長	吉田 展泰	サービス管理責任者 (主任)	金野 千知
職業指導員 (衛生管理責任者)	佐々木 利光	目標工賃達成指導員 (衛生管理責任者・係長)	平野 さつき
職業指導員 (生活支援員)	佐藤 睦美	職業指導員補助	檜山 博己
職業指導員	畠山 一樹	職業指導員 (契約)	木下 公喜
職業指導員	金野 凌太郎		

2. 行事等報告

(1) 行事

月	日	内 容
7	13	バスハイク（イオン釜石店）
・令和4年4月～令和5年3月 食事会（施設内・夢茶房での会食）		

(2) 諸会議・施設内研修

月	日	内 容	出席者
5	28	（内部研修）障害者総合支援法、自立支援給付について	全員
6	27	気仙地域障がい者自立支援協議会運営会議	吉田
8	2	（支援学校）気仙圏域ネットワーク会議	吉田
9	17	（内部研修）個別支援計画、ケアマネジメントについて	全員
10	22	（施設内虐待防止研修）スピーチロック（言葉の拘束について）	全員
12	8	気仙圏域高次脳機能障がい者支援連絡協議会	吉田
12	17	（虐待防止委員会）支援業務における虐待防止に係るモニタリング	全員
1	6	就労アセスメント評価会議	金野（千）
1	11	就労アセスメント共有会議	金野（千）
2	14	気仙地域障がい者自立支援協議会運営会議	吉田
2	18	（内部研修）精神障がい、精神疾患について	全員
2	27	（支援学校）移行支援会議	吉田
3	21	（虐待防止委員会）職員のメンタルヘルスチェックについて	全員
・職員会議、工賃会議、ケース会議については毎月開催。			
・自立支援協議会就労部会（毎月開催）は、金野（凌）が出席。			

(3) 施設外研修

月	日	内 容	場 所	参加者
7	8	令和4年度岩手県社会福祉協議会障がい福祉協議会沿岸ブロック協議会第1回研修会	陸前 高田市	吉田
7	21	UCC 三國シェフオンラインミニセミナー	WEB	佐々木 檜山・平野
8	25	遠藤シェフクッキーレシピアセミナー（動画視聴）	WEB 動画	佐々木・佐藤 檜山・平野
9	6	令和4年度ナイスハートバザール担当者研修会	WEB	金野（千）
10	3	令和4年度発達障がい基礎研修会	WEB	佐藤
10	27	高齢者施設の災害対策 BCP 研修会	WEB	吉田 金野（千）
12	6	令和4年度岩手県社会福祉協議会障がい福祉協議会沿岸ブロック協議会第2回研修会	陸前 高田市	畠山
2	9	令和4年度 社会福祉法人大洋会 虐待防止研修会	福祉の里 センター	全員
2	28	令和4年度工賃引上げセミナー	WEB	金野（千） 平野

3	3	令和4年度精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業研修会	WEB	吉田 金野（凌）
3	16	高次脳機能障がい者支援研修会	WEB	金野（凌）

3. 実習・体験利用・見学受け入れ状況

気仙光陵支援学校高等部3年生1名（就労アセスメント）、2年生1名（前期実習）、中学部3年1名の受け入れを行っている。その他、支援学校中学部進路見学会、利用希望者の見学（計9名）、体験利用（計4名）を随時受け入れた。

4. 利用者の状況

登録者数 40名（令和5年3月末） 退所者 0名 新規登録者 4名

(1) 市町村別

	大船渡市	陸前高田市	住田町	計
男	19	2	1	22
女	13	3	2	18
計	32	5	3	40

(2) 年齢別

18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	計
0	7	12	5	11	5	40

(3) 月別利用状況

平成4年度 月平均利用者数 29.1人

月	延べ人数	月平均利用数	月	延べ人数	月平均利用数
4月	647	29.4	10月	682	29.7
5月	583	25.3	11月	655	29.8
6月	652	29.6	12月	685	29.8
7月	666	29.0	1月	639	27.8
8月	693	30.1	2月	608	30.4
9月	651	29.5	3月	685	29.8

(4) 利用者日課

9：10	到着・朝礼	13：00	作業
9：15	作業	14：15	休憩
10：30	休憩	14：30	作業
10：45	作業	15：30	清掃
12：00	昼食	15：45	終礼・退出

5. 利用者支援

(1) 健康管理・感染症対策

施設到着時に毎朝の検温と健康状態の確認を行い、本人の体調管理と感染症予防対策に努め

た。今年度は、健康診断、コロナウイルスワクチン接種（希望者対象）、インフルエンザ予防接種を実施している。利用者が濃厚接触者・陽性者となったこともあり、日々の予防対策の徹底、連絡体制や事業継続対応について共通認識が持てるよう努めていった。

また、医療機関や訪問看護事業所、居宅介護事業所と連携し、治療や服薬管理に関する調整、通院同行、医師や医療従事者から病状確認などを行った。それにより、各種疾患（精神疾患、生活習慣病等）管理に努め、利用者の健康維持につながる活動を行ってきた。特に、今年度は、新規利用者を含め精神障がい者の体調変化が大きく、上記機関、事業所との連携を密に取り、できるだけ安定した体調、生活環境が保てるよう対応を行ってきた。

（２）作業指導・就労支援

利用者本人の特性等に応じ、作業環境の整備、伝え方など工夫しながら、日々の作業指導を行っていった。特に精神障がい者については、日々の体調変化があるため、体調変化に応じた作業配置を行ってきた。今年度は、就業・生活支援センターと連携し、一般就労希望者（精神障がい者）１名が、市内事業所（高齢者福祉施設）での実習を行うことができた。実習を通し今後の作業課題を見出すことができ、作業課題を踏まえた星雲工房での取り組み、一般就労への意欲向上につなげることができた。

（３）生活支援、相談全般・家族との連絡等

昨年度に引き続き、サービス管理責任者と生活支援員が中心となり、医療、金銭面など、他機関と連携を図りながら支援した。特に今年度については、医療機関、障がい福祉サービス事業所（生活介護、共同生活援助、居宅介護等）、地域包括支援センター、社会福祉協議会など各種機関と連携し、相談対応や生活支援を進め、新たな社会資源の利用や生活環境の改善につなげることができた。

利用者家族に対しては、利用者の健康管理や生活支援に関する働きかけを行い、利用者の健康維持や生活支援への理解や協力が得られるよう努めてきた。今年度は、相談支援専門員と連携し、利用者本人や家族の意見等を調整し互いに折り合いをつけるような働きかけを行うことができた。

6. 就労支援の概況

（１）製菓

昨年度と同様、新型コロナウイルス感染拡大の影響で受託元の経営不振が見られ、１年を通し受注量が減少している。また、世界各国の情勢が影響し、小麦粉など原材料がさらに高騰し、仕入支出の増額につながっている。そのため、昨年度と比べ部門収入が減少している。

販売機会については、気仙管内の事業所・企業への販売活動再開、取引先（大船渡市役所職員生協、みやぎ生協、大船渡温泉等）の開拓や新たな注文、取引企業ホームページでのネット販売に製菓商品を掲載いただくことができた。来年度以降、感染症の影響が少なくなると予想されるため、取引先の開拓、販売方法の工夫などに努めていきたい。

（２）受託作業

昨年度と同様、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、受託元の売上不振が見られ、それに影響されるかたちで、受注量の減少傾向が続いた。しかし、昨年度と比べ、部品組立、製函作業の受注量が増加した。また、令和４年９月から令和５年２月までの期間、パンフレット封入作業を受託することができ、受託作業の大きな収入源となった。来年度以降、感染症の影響が少なくなると予想され、受注量増加や各種作業に対応できるよう、あらためて作業体制を整備していきたい。

また、水産受託作業については、ほぼ途切れることなく、年間を通し、作業を行うことができている。昨年度に引き続き、越喜来漁協より製函作業を受託し、星雲工房の「水福連携」のイメージがより地元や県内で広がりつつある。今後も「水福連携」の活動、普及に貢献していきたい。

(3) 清掃作業

陸前高田市にある高齢者施設内の清掃作業を行ってきた。概ね年間を通し作業を行うことができた。しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、高齢者施設側の作業受け入れ一時休止や作業自粛など、一時作業参加できない期間が複数回あった。約3～5名の利用者が作業に従事し、身体面・精神面で作業に配慮が必要な方もいたが、職員の見守りや助言等もあり、安全に落ち着いて作業を行うことができています。

陸前高田市のある県営住宅公共スペースの消毒作業を週2回行ってきた。身体面、精神面において作業対応が難しい方もいたが、できるだけ多くの利用者に作業参加できるよう働きかけを行った。来年度以降、消毒作業は終了となる見込みであり、今後は、上記清掃作業の継続とともに、作業の新規開拓にも努めていきたい。

(4) 喫茶

上記に同じく、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、店舗のあるショッピングセンターへの来店者は減少傾向であり、それに伴い、喫茶店舗への来店者も減少傾向が続いた。今年度も引き続き「いわて飲食店安心認証制度」の認証を受け、感染拡大の状況においても、安心して飲食ができる環境を提供できるよう努めてきた。また、テイクアウト（持ち帰り）やデリバリー（出前）の対応を充実させ、注文を受けることも多くなってきた。しかし、収入増加につながらず、昨年度と比べ収入減少となった。今後、新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなることが予想されるため、店舗集客の働きかけを積極的に行っていきたい。また、テイクアウト、デリバリー対応の充実についても引き続き取り組んでいきたい。

7. 収入・工賃実績

単位：円

	収入額	工賃支給総額	部 門 別 内 訳		
			受託部門他	製菓部門	喫茶部門
令和2年度	18,023,349	7,505,400	4,853,097	9,283,117	3,887,135
令和3年度	14,333,481	7,668,100	4,644,519	7,165,512	2,523,450
令和4年度	14,275,064	6,971,600	5,828,830	6,255,804	2,200,590

平均支給額 15,458 円／月

8. 防災状況

(1) 自衛消防隊

隊	係	任 務	担 当
施 設 長	通報連絡係	消防署及び関係機関への通報連絡	畠山
	消 火 係	初期消火活動	金野（千）・木下
	避難誘導係	利用者の避難誘導	金野（凌）・檜山
	館内警備係	館内の見回り、避難状況の確認	平野
	救 護 係	負傷者の救護、避難誘導係の補助	佐藤

(2) 訓練実施状況

実施日時	令和3年12月5日 15:00～	訓練種別	避難・消火・通報訓練
内容	施設製菓調理室から出火の想定し訓練を実施。火災報知機を鳴動させ、出火場所を施設内の利用者に知らせる。消火係は初期消火にあたり、誘導係は作業中の利用者を作業室、玄関から避難させ、避難場所としている施設前の駐車場で人数確認、点呼を行う。		
実施日時	令和5年3月28日 9:15～	訓練種別	避難訓練
内容	岩手県沖を震源とする、震度5の地震を想定し実施。机に下にもぐるなど安全を確保したうえで、速やかに誘導係は利用者を作業室、玄関から避難させ、避難場所としている施設前の駐車場で人数確認、点呼を行う。		

9. 苦情受付状況 0件

10. まとめ

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、今年度においても、受注量の不安定さや収入減少につながった。今後、感染症の影響が少なくなると予想されるため、新規販売先・受託作業の開拓やイベント等販売機会を活用することで、注文・受注量の安定、収入増加につながるよう努めていきたい。

利用者の健康管理、就労・生活支援については、今年度、精神障がい者の新規利用が2名増え、職場実習も1名実施したことから、精神障がい者に対する就労・生活支援、体調管理について考える年度となった。今後、精神障がい者の利用希望が増えると予想されるため、精神障がい・精神疾患の理解、対応方法等の実践的な支援技術を学び、作業や支援の中で実践できるよう努めていきたい。そのため、内部研修を含めた各種研修などの参加や、OJT（実際の仕事を通じて知識、技術などを身に付けさせる教育方法）を実施していきたい。また、昨年度と同様、地域のさまざまな事業所・機関などと連携し支援を進める機会が多くあった。今年度は、相談支援専門員と連携しながら支援継続したことで、生活・経済環境の改善が見られたケースもあった。職員が多機関との連携や協働を意識しつつ、日々の作業や支援を実践し、積み重ねができていると考えられる。今後も、職員が日々の支援業務の中で連携や協働を意識しながら実践ができるよう、業務の振り返りやより理解や学びができるよう学習する機会を行っていきたい。

今後、コロナウイルス感染症の影響が少なくなると予想されるが、再びコロナウイルス、その他感染症の感染拡大の可能性は十分考えられる。今後も感染予防対策の徹底、BCP（事業継続計画）の見直しや訓練などに取り組んでいきたい。